

## 令和4年度鹿屋市当初予算 総括表

(単位：千円,%)

区 分		令和4年度		令和3年度	対前年度比較	
		当初予算額	構成比	当初予算額	増減額	増減率
一 般 会 計		50,930,000	67.3	52,170,000	▲ 1,240,000	▲ 2.4
特 別 会 計	国民健康保険事業	11,299,806	14.9	11,672,092	▲ 372,286	▲ 3.2
	後期高齢者医療	1,494,877	2.0	1,388,484	106,393	7.7
	介護保険事業	11,913,802	15.8	11,804,453	109,349	0.9
	小 計	24,708,485	32.7	24,865,029	▲ 156,544	▲ 0.6
合 計		75,638,485	100.0	77,035,029	▲ 1,396,544	▲ 1.8

(単位：千円)

公 営 企 業 会 計	区 分	水 道 事 業	下 水 道 事 業
		収 益 的 収 入	1,817,641
	収 益 的 支 出	1,605,702	861,530
	資 本 的 収 入	32,904	325,179
	資 本 的 支 出	989,753	679,487

# 令和4年度一般会計当初予算の概要

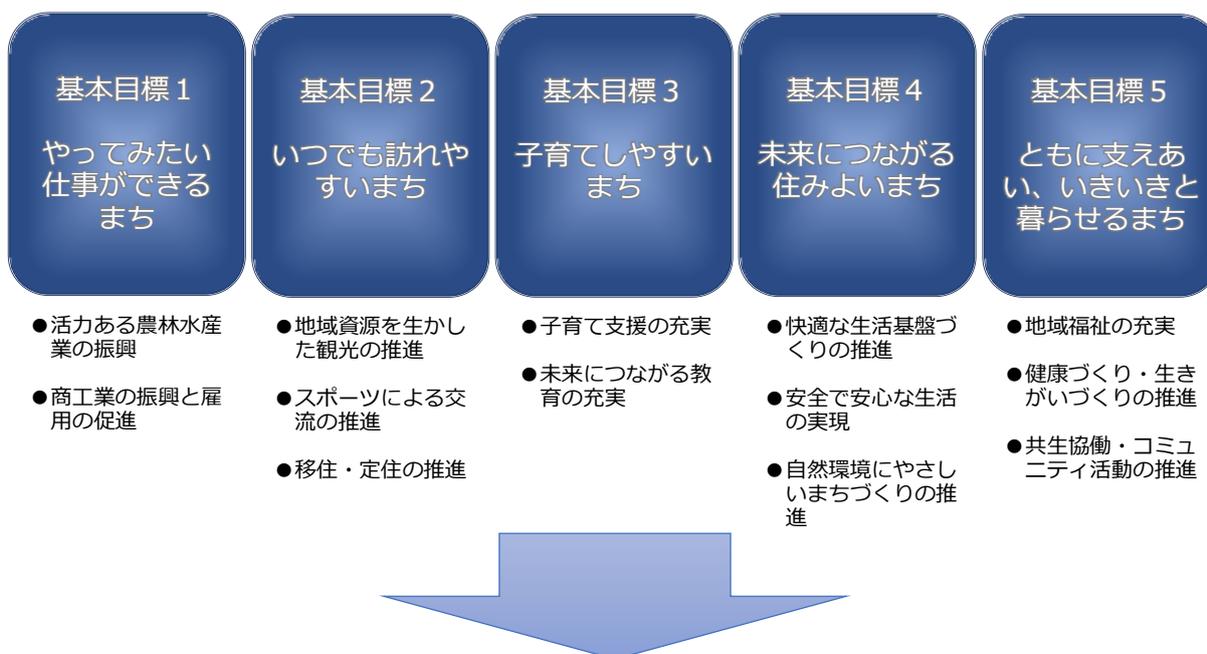
## 予算編成の考え方

### 骨格予算の編成

令和4年度当初予算は、

- 人件費、扶助費、公債費などの義務的経費
- 第2次鹿屋市総合計画に掲げる基本目標の実現に向けた取組として、安全・安心の確立、子ども・子育て支援、福祉・医療の充実、商工業・農林水産業の振興、雇用、社会インフラの整備などのうち、継続事業や年度当初から着手することが必要な事業等を計上しました。

### 第2次鹿屋市総合計画に掲げる基本目標の実現に向けた取組



**509億3,000万円**

前年度当初予算比 (▲12億4,000万円 ▲2.4%)

## 当初予算額の比較

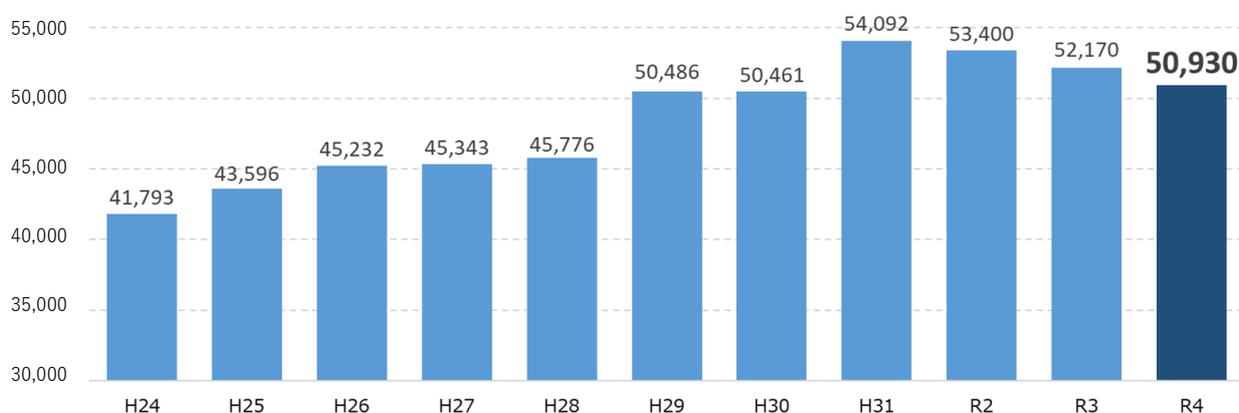
単位：百万円

区分		令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
一般会計		50,930	52,170	▲1,240	▲2.4%
特別会計	国民健康保険事業	11,300	11,672	▲372	▲3.2%
	後期高齢者医療	1,495	1,388	107	7.7%
	介護保険事業	11,914	11,804	110	0.9%
	小計	24,709	24,865	▲156	▲0.6%
合計		75,639	77,035	▲1,396	▲1.8%

注) 各数値の表示未満は四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合があります。

### 一般会計当初予算額の推移

単位：百万円



注) H26 及び H30 は6月補正後の予算額

### 主な増減理由

※括弧内は前年度からの増減額

- 北部学校給食センター整備 皆減 (▲13億9,136万円)
  - ・整備期間：令和元年度～3年度
  - ・総事業費：約20億円

---

- 中学校空調化推進事業 皆減 (▲2億3,470万円)
  - ・R3：鹿屋東中学校

---

- 道路・排水路・橋りょう整備事業 (工事) 7億165万円 (▲1億4,160万円)

※県実施工事の負担金を含む

  - ・道路 R3：19路線 → R4：16路線 (西原郷之原線、岡村矢柄堀線等の事業完了による減) ▲約2.6億円
  - ・排水路 R3：4地区 → R4：3地区 (寿西部第2雨水幹線分流排水路の事業実施による増) +約0.7億円  
※実施地区は減少。各排水路整備の早期完成に向けた事業費の増
  - ・橋りょう R3：3橋 → R4：6橋 (更生橋など6橋の工事着工による増) +約0.5億円

---

- 企業誘致・サポート推進事業 5,391万円 (▲1億7,252万円)
  - ・工場等立地促進事業補助件数：R3：3件 → R4：1件 ▲2件

---

- 自立支援給付事業 (障がい福祉サービス) 43億6,330万円 ( 5億7,277万円)
  - ・障がい者福祉サービスの利用件数等の増

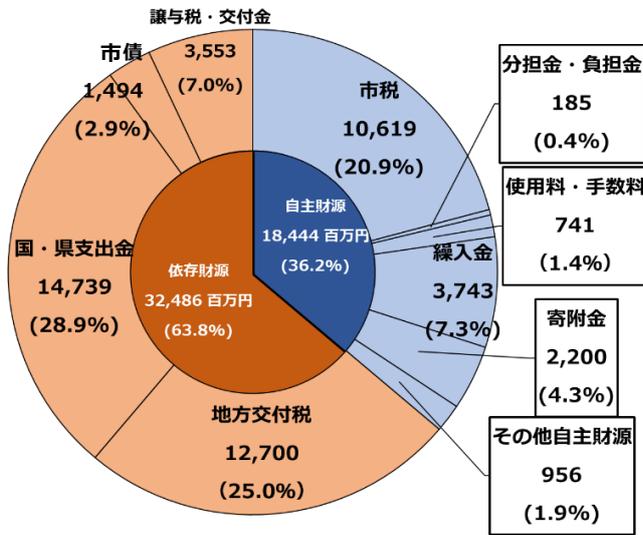
---

- 小・中学校施設改修事業 (設計) 1億14万円 ( 8,396万円)
  - ・小学校 R3：2校 (祓川、下名小学校) → R4：10校 (西原台小学校など10校)
  - ・中学校 R3：0校 → R4：2校 (吾平、上小原中学校)

# 歳入・歳出の内訳

## 歳入予算の内訳

単位：百万円

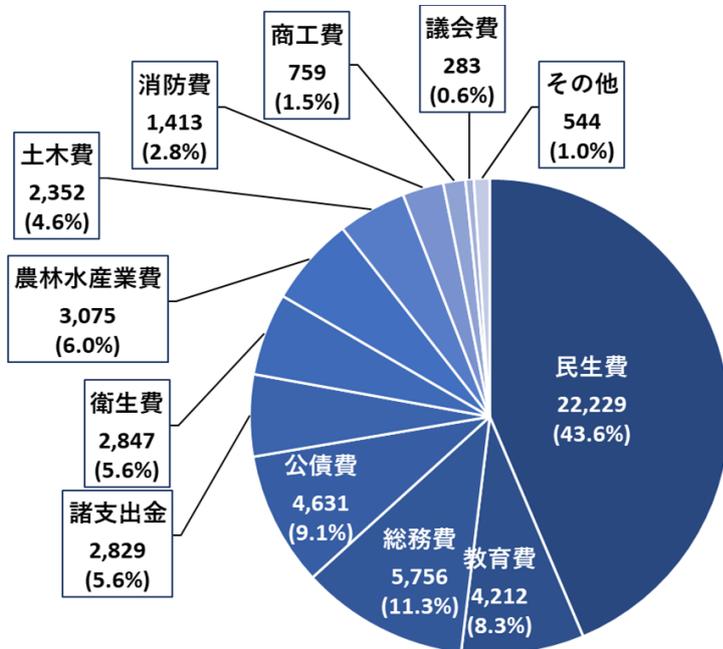


歳入科目	予算額	構成比
市税	10,619	20.9%
分担金・負担金	185	0.4%
使用料・手数料	741	1.4%
繰入金	3,743	7.3%
寄附金	2,200	4.3%
その他 (財産収入 83、繰越 600、諸収入 273)	956	1.9%
<b>自主財源</b>	<b>18,444</b>	<b>36.2%</b>
地方交付税	12,700	25.0%
国・県支出金	14,739	28.9%
市債	1,494	2.9%
譲与税・交付金	3,553	7.0%
<b>依存財源</b>	<b>32,486</b>	<b>63.8%</b>
<b>合計</b>	<b>59,930</b>	<b>100%</b>

歳入区分	R 4	R 3	増減
自主財源	36.2%	34.4%	+1.8
依存財源	63.8%	65.6%	▲1.8

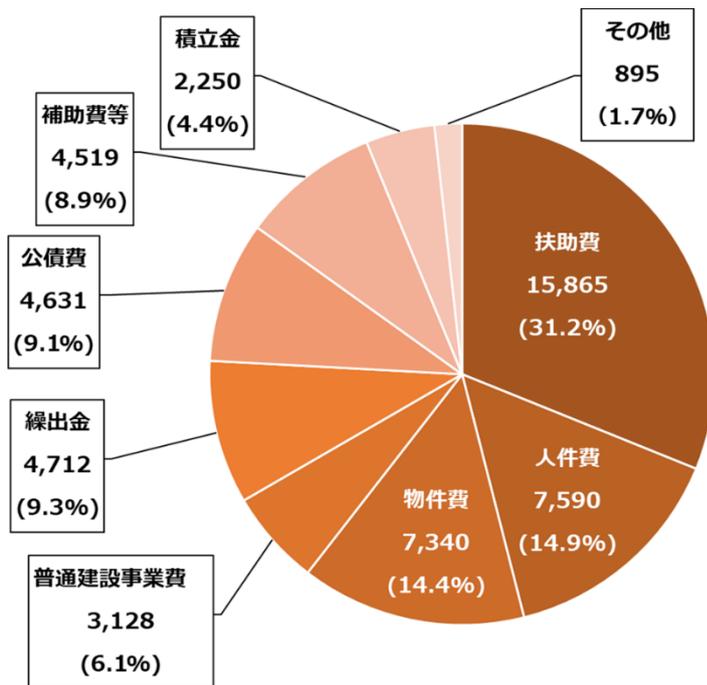
## 歳出予算 (目的別) の内訳

単位：百万円



科目	予算額	構成比
議会費	283	0.6%
総務費	5,756	11.3%
民生費	22,229	43.6%
衛生費	2,847	5.6%
農林水産業費	3,075	6.0%
商工費	759	1.5%
土木費	2,352	4.6%
消防費	1,413	2.8%
教育費	4,212	8.3%
公債費	4,631	9.1%
諸支出金	2,829	5.6%
その他 (労働費 60、災害復旧費 384、予備費 100)	544	1.0%
<b>合計</b>	<b>50,930</b>	<b>100%</b>

## 歳出予算（性質別）の内訳



単位：百万円

科目	予算額	構成比
人件費	7,590	14.9%
扶助費	15,865	31.2%
公債費	4,631	9.1%
普通建設事業費	3,128	6.1%
物件費	7,340	14.4%
補助費等	4,519	8.9%
繰出金	4,712	9.3%
積立金	2,250	4.4%
その他（維持補修費 386、災害復旧事業費 384、貸付金 25、予備費 100）	895	1.7%
合計	50,930	100%

## 主な増減理由

※括弧内は前年度からの増減額

区分	科目	増減理由
歳入	市 税	<b>106億1,910万円</b> （ <b>8億3,350万円</b> ） ▶令和4年度地方財政対策における地方税の伸びを参考に試算
	地方交付税	<b>127億 10万円</b> （ <b>3億 10万円</b> ） ▶令和4年度地方財政対策における見込みを参考に試算
	市 債	<b>14億9,430万円</b> （ <b>▲24億8,540万円</b> ） ▶臨時財政対策債発行額の減、大型事業の完了による市債発行額の減

区分	科目	増減理由
歳出（目的別）	民生費	<b>222億2,939万円</b> （ <b>6億7,856万円</b> ） ▶障がい福祉サービス利用件数の増など
	教育費	<b>42億1,186万円</b> （ <b>▲16億1,133万円</b> ） ▶北部学校給食センター施設整備事業及び学校空調化推進事業終了による減
	商工費	<b>7億5,921万円</b> （ <b>▲1億6,389万円</b> ） ▶工場等立地促進補助金の減など

## 主な歳出（性質別） 義務的経費

単位：百万円

区分	令和4年度	令和3年度	増減額	主な増減理由
人件費	7,590	7,499	91	国から示された基準による消防団員の処遇改善に伴う増 など
扶助費	15,865	15,526	339	障がい福祉サービスの充実などによる社会保障関係費の増
公債費	4,631	4,506	125	R2年度大型事業実施に伴う借入分の償還開始に伴う増
計	28,086	27,531	555	

### 主な事業（扶助費）

※括弧内は前年度からの増減額

○自立支援給付事業（障がい福祉サービス） 43億5,747万円（5億7,164万円）

・障がい福祉サービスの利用件数の推移

区分	R1	R2	R3見込	R4見込
利用件数	35,605件	38,315件	43,236件	46,655件

○子ども医療費助成事業 4億1,974万円（▲1,546万円）

・無償化の対象

区分	R2	R3	R4
対象者	中学卒業まで (約14,900人)	高校卒業まで (約17,700人)	高校卒業まで (約17,400人)

○生活保護事業 19億5,701万円（1,487万円）

・生活保護人員の推移

区分	R1	R2	R3見込	R4見込
生活保護人員	1,148人	1,137人	1,146人	1,161人

注) 扶助費のみを集計しているため、事業費と一致しない場合があります。

## 主な歳出（性質別） 投資的経費

### 普通建設事業費

**31億2,802万円**  
(前年度比 ▲17億5,095万円 ▲35.9%)

○継続中の工事や、年度当初からの着手が必要な事業を中心に計上したこと及び大型事業の完了（北部学校給食センター整備 R1～R3 など）により減額となっています。

### 主な事業

※括弧内は前年度からの増減額

○道路・排水路・橋りょう整備事業 7億 165万円 (▲1億4,160万円)

・道路：16路線（2号水道線、寿大通線（負担金）など）

※県実施工事の負担金を含む

※交通安全施設整備（中央線、車道外側線等）に要する経費 3,093万円（1,193万円）

・排水路：3地区（寿西部第2雨水幹線分流排水路など）

・橋りょう：6橋（更生橋 など）

※前年度からの増減理由：事業完了（西原郷之原線など）による減

○畜産クラスター事業 5億9,226万円（1億1,371万円）

・搾乳牛舎等施設整備：2件、家畜排せつ物個別処理施設整備：1件

※前年度からの増減理由：対象事業費が増えたことによる増

○小・中学校施設改修事業（設計） 1億 14万円（8,396万円）

・小学校：10校（西原台小など10校）／中学校：2校（吾平、上小原中学校）

※前年度からの増減理由：設計に係る対象校数が増えたことによる増

○鹿屋市スポーツ施設再配置事業（設計） 3,700万円（▲1億3,205万円）

・野里運動広場

※前年度からの増減理由：事業完了（鹿屋運動公園陸上競技場など）による減

### <大型事業の完了による減額>

・北部学校給食センター整備事業 皆減（▲13億1,437万円）

・中学校空調化推進事業 皆減（▲2億3,452万円）

注）普通建設事業費のみを集計しているため、事業費と一致しない場合があります。

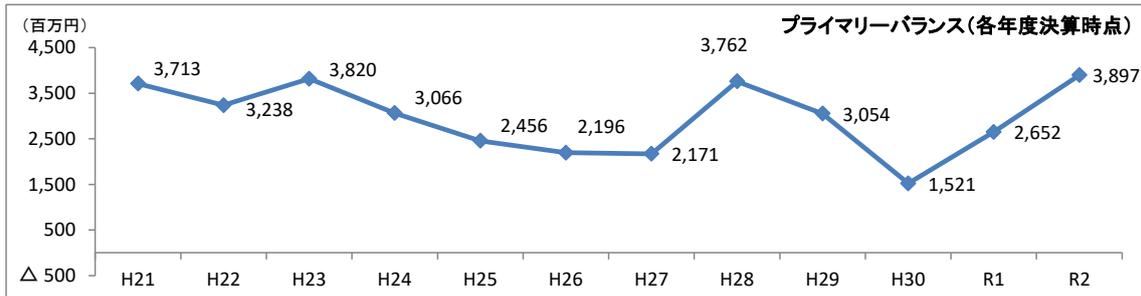
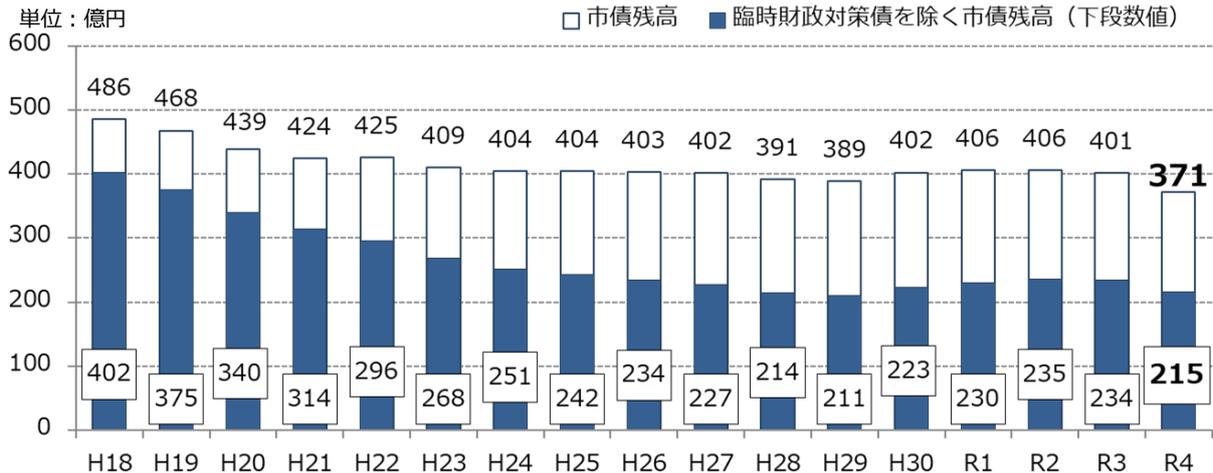
# 財政健全化

## 市債残高の縮減

### 市債残高

令和4年度末（見込み） **371** 億円  
 （平成18年度末比較 ▲115億円）

※臨時財政対策債を除く市債残高  
**215** 億円（平成18年度末比較 ▲187億円）

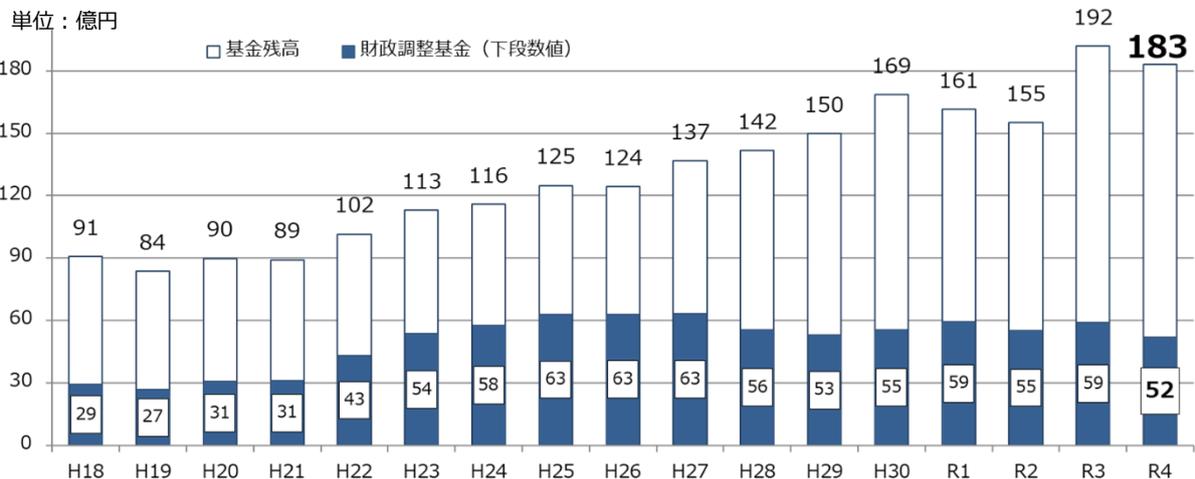


プライマリーバランス：市債の元利償還（公債費）を除いた歳出と、市債を除いた歳入との差

## 基金残高の確保

### 基金残高

令和4年度末（見込み） **183** 億円  
 （平成18年度末比較 +92億円）



## 〈基本目標ごとの概要〉

基本目標 1 やってみたい仕事ができるまち

基本目標 2 いつでも訪れやすいまち

基本目標 3 子育てしやすいまち

基本目標 4 未来につながる住みよいまち

基本目標 5 とともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

市政運営

## 基本目標 1 やってみたい仕事ができるまち

19億7,170万円

### 基本施策① 活力ある農林水産業の振興

#### ■ サツマイモ基腐病対策支援事業（農林水産課・農地整備課）885万円

サツマイモ基腐病対策の継続的な取組を推進するため、生産者が行うパイオ苗の購入による健全苗の確保や農地の土層改良、排水対策を支援します。

##### 新 ▶ サツマイモ基腐病対策支援 885万円

- ・パイオ苗購入に要する経費の一部を支援
- ・土層改良や排水対策に要する経費の一部を支援

#### ■ がんばる畑作応援事業（農林水産課）1億824万円

国の補助事業等を活用した施設整備、機械整備を支援し、本市農業の一層の発展や農家の経営安定を図ります。

##### ▶ 生産性向上のための施設整備、機械整備支援 1億824万円

- ・国の活動火山周辺地域防災営農対策事業等を活用した農業用ハウスの整備、省力化機械の整備等を支援

#### ■ スマート農業推進事業（農林水産課・畜産課）897万円

農業や畜産の現場における作業の効率化と生産性の向上を図るため、「かのや型スマート農業推進方針」に基づき、施設園芸における環境制御装置や農業用ドローン、畜産ICTの普及を推進します。

##### ▶ スマート農業の加速化支援 897万円

- ・施設園芸のスマート化を加速させるための環境制御装置の導入支援
- ・作業の効率化・省力化を図るための農薬散布用ドローンの導入支援
- ・飼養管理技術の向上を図るための畜産繁殖・体調管理システムの導入支援

#### ■ 全国和牛能力共進会对策事業（畜産課）4,226万円

第12回全国和牛能力共進会（鹿児島県開催）に向けた出品対策や機運醸成を図るためのPR活動を行います。

##### 拡 ▶ 全国和牛能力共進会对策 4,041万円

- ・出品に対する支援や地域の機運醸成に係るPRの実施

第12回 全国和牛能力共進会  
和牛フェス in かのや 2022



第12回 全国和牛能力共進会  
和牛フェス in かのや 2022

#### ■ 畜産産地力向上対策事業（畜産課）2億8,342万円

畜産経営体の施設等の整備や繁殖農家・肥育農家における生産基盤の維持・拡大に対する支援を強化します。

##### ▶ 肉用牛繁殖農家支援の強化 1,250万円

- ・高品質な和牛生産による「和牛のふるさとかのや」の産地力強化のための牛舎整備を支援

##### ▶ 収益力強化のための畜舎等の整備支援 2億7,092万円

- ・国の畜産クラスター事業を活用した収益力強化に必要な施設整備

## ■ 漁業付加価値向上対策事業（農林水産課、道路建設課） 5,279万円

水産物加工処理作業の効率化や商品の品質向上に向けた水産物加工処理機械の導入の支援を行い、漁業者の収益の向上や地域水産業の発展を図ります。

また、県が行う鹿屋港の港湾整備事業に対し一部負担を行います。



### 新 ▶ 水産物加工処理施設整備への支援 1,539万円

※令和3年度3月補正と合わせた施設整備への支援 合計 1億1,196万円

### ▶ 県が実施する港湾整備事業の一部負担 3,740万円

## ■ 地域6次産業化推進事業（産業振興課） 589万円

本市の基幹産業である第一次産業を基軸とした地域6次産業化による高付加価値化や販路開拓等により、地域所得の向上を図ります。

### 新 ▶ （仮称）かのやよかもんマルシェ 50万円

- ・市内事業者が商品開発した商品が市民に愛される商品として認知されるようイベント出展を支援



## 基本施策② 商工業の振興と雇用の促進

## ■ 企業誘致サポート事業（産業振興課） 5,392万円

立地協定を締結した企業が行う設備投資等に対する支援を行うことで、企業活動の促進や市内定着を推進します。

また、立地企業の拡張に向けた工場用地の造成やサテライトオフィス誘致の取組を進めることで、雇用機会の拡大や地域経済の活性化を図ります。

### ▶ 立地協定締結企業の設備投資等に対する支援 982万円

### ▶ 立地企業に係る工場用地の造成 2,700万円

## ■ 人材確保・担い手育成事業（商工振興課、農林水産課外） 6,516万円

新規学卒者等の地元企業への就職率を高めるため、人手不足に悩む地元企業の支援を行うことで、地元企業の人材確保に努め、産業の活性化を図ります。

また、農畜産業における新規就農研修資金等の支援を行い、担い手育成・確保を通じて地域の農業の維持・発展を図ります。

### ▶ 合同就職面談会・企業見学会の開催 278万円

- ・地元企業の合同就職面談会や市内高校生を対象とした企業見学会を実施

### ▶ 新規就農者への支援 6,218万円

- ・新規就農者への研修期間の生活資金や就農開始資金を支援

## 基本目標 2 いつでも訪れやすいまち

3億3,088万円

### 基本施策① 地域資源を生かした観光の推進

#### ■ ばらを活かしたまちづくり推進事業（都市政策課） 2,981万円

鹿屋の地域資源である「バラ」や「かのやばら園」の魅力を最大限に活かしたイベントや情報発信を行い、地域活性化を図ります。

また、令和5年春のリニューアルオープンに向け、より多くの来園者が訪れる魅力あるばら園となるよう整備を行います。



#### 新 ▶ かのやばら園リニューアルに向けた設計 745万円

- ・ ウェルカムガーデンや展望デッキ等の整備に係る設計業務

《整備内容》

年度	整備内容
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウェルカムガーデン、展望デッキの整備</li> <li>・ つるバラトンネル等の整備</li> <li>・ 無料 Wi-Fi アクセスポイントの設置（4箇所）</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フォトスポットの増設</li> <li>・ 無料 Wi-Fi アクセスポイントの設置（10箇所）</li> </ul>

#### ▶ かのやばら祭り等の開催 2,236万円

- ・ かのやばら祭り（春・秋）など、コロナ禍でも可能なイベントの開催

#### ■ かのや観光PR事業（ふるさとPR課） 1,493万円

ウィズコロナからアフターコロナに向けた取組として、戦争遺跡をはじめとした本市の様々な地域資源を活用した観光PRを行い、市外からの誘客促進を図ります。

#### ▶ 観光専門人材の活用や「戦争遺跡」を活かした観光PRの推進 1,493万円

- ・ 空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会への負担金  
（構成団体：兵庫県姫路市、兵庫県加西市、大分県宇佐市、鹿屋市）

《主な活動内容》

項目	活動内容
4市合同シンポジウム	4市の戦跡の企画展示、物産販売を実施
平和の花束	シンポジウム・講演会等の開催、特別賞授与
平和ガイド研修会	4市の平和ガイドの相互交流・相互学習

- ・ 観光専門人材…総務省の企業人材派遣制度を活用し、令和3年度より登用中

## 基本施策② スポーツによる交流の推進

### ■ スポーツ交流推進事業（市民スポーツ課） 5,110 万円

令和5年度に開催される「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」に向けた市民活動の推進を図り、気運を高めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策など安全安心な競技会開催に向けた取組を進めます。

また、スポーツイベントの開催をはじめ、自転車を活用したまちづくりの推進、鹿屋体育大学・かのやスポーツコミッションと連携したスポーツ合宿の誘致推進など、スポーツによる交流を推進します。



#### ▶ かごしま国体開催に向けた取組 2,545 万円

- ・新型コロナウイルス感染症対策など安全安心な競技会開催に向けた取組や気運醸成のためのPR活動

#### ▶ スポーツ合宿誘致の推進 984 万円

- ・鹿屋体育大学の施設を活用した合宿の誘致や滞在時のサポート

#### ▶ ホームタウンチーム・大学との連携による交流推進 300 万円

- ・「CIEL BLEU KANOYA」と連携したサイクリングイベントの開催
- ・鹿屋体育大学の施設を活用したスポーツイベントの開催

### ■ スポーツ施設整備事業（市民スポーツ課） 6,013 万円

市民がスポーツに親しみやすい環境づくりや各種大会、スポーツ合宿誘致による交流を促進するために、スポーツ施設の整備を行います。

#### ▶ スポーツ施設の整備 3,700 万円

- ・主な整備内容

施設名	整備内容
野里運動広場	設計（サッカー場、テニス場等）

## 基本施策③ 移住・定住の推進

### ■ 移住促進事業（地域活力推進課） 1,031 万円

令和2年4月に設置した「かのや移住サポートセンター」を中心に、移住希望者の支援や情報発信等に取り組みます。

#### ▶ 移住希望者の支援・情報発信 1,031 万円

- ・本市への移住希望者に向けた受入体制の強化や情報発信

## 基本目標 3 子育てしやすいまち

18億521万円

### 基本施策① 子育て支援の充実

#### ■ 医療的ケア児保育支援事業（子育て支援課） 1,552万円

医療的ケア児が保育所等の入所を希望する場合に、受け入れが可能となるよう、保育所等の体制整備を支援し、医療的ケア児の地域生活支援の向上を図ります。

#### 新 ▶ 医療的ケア児を受け入れる保育施設への支援 1,552万円

- ・看護師等の配置や施設職員の研修等に係る経費の支援
- ※実施予定保育施設：2施設

#### ■ 保育所等感染拡大防止事業（子育て支援課） 4,050万円

保育所等における新型コロナウイルス感染症対策に係る環境・体制整備を引き続き支援することにより、安全・安心な保育等の提供を図ります。

#### ▶ 保育所等における感染症対策支援 4,050万円

対象施設	支援内容
保育所、認定こども園 放課後児童クラブ 等	感染拡大防止対策に係る衛生用品等購入支援 など

#### ■ 子育て広場推進事業（子育て支援課） 2,340万円

令和2年10月に開設した子育て交流プラザ「あそVIVA!かのや」について、新型コロナウイルス感染症の影響により開館日等を縮小していましたが、令和4年度からフルオープンし、子育て支援の充実を図ります。



施設名	実施場所	開館日(予定)
子育て交流プラザ	県民健康プラザ健康増進センター内	火～日(週6日)

※新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、開館日は変更となる場合もあります。



#### ■ 未就学児に係る国民健康保険税の軽減措置【国保特会】（健康保険課） 770万円

子育て世帯の経済的支援のため、国や市独自の従来からの軽減措置に加え、未就学児の均等割保険税を国と地方の負担により5割軽減します。

#### 新 ▶ 未就学児に係る国民健康保険税の軽減 770万円

現行の軽減状況	改正後の軽減割合
7割軽減	8.5割軽減（7割＋1.5割）
5割軽減	7.5割軽減（5割＋2.5割）
2割軽減	6割軽減（2割＋4割）
軽減なし	5割軽減（軽減なし＋5割）

## ■ 支え愛ファミリー住宅改修応援事業（建築住宅課） 5,043 万円

子育てしやすい住環境の整備や世代間で支え合いながら生活する多世代同居家族の形成、若年世代の確保等を図ることにより、各世代が安全で安心して暮らせる快適な住環境づくりを推進します。

### ▶ 住宅リフォーム補助事業 5,043 万円

内容	対象となる世帯	補助率・限度額
リフォーム工事の費用の一部を支援	子育て世帯・高齢者等世帯	20%・20万円
	定住世帯	30%・30万円
	一般世帯	15%・20万円

## 基本施策② 未来につながる教育の充実

### ■ 小・中学校 ICT 教育推進事業（学校教育課） 8,665 万円

国の G I G A スクール構想で整備したタブレット端末や校内ネットワーク環境を効果的に活用し、主体的な学びや協働的な学びを実現していきます。

#### 拡 ▶ ICT 支援員の配置 3,696 万円

1人1台端末環境の安定的な運用を支援

職名	人数	事業内容
ICT 支援員	8人	・ ICT 機器・ソフトウェアの操作説明 ・ 校務支援システムの設定操作支援 等

#### 新 ▶ G I G A スクール運営支援センター事業（令和3年度3月補正予算） 1,320 万円

国の補助金を活用して、G I G A スクール運営支援センターを設置し、ICT 環境の安定的な運用や持ち帰り学習時の支援体制を強化

事業名	事業内容
G I G A スクール運営支援センター	・ タブレット持ち帰り時の運用支援 ・ ヘルプデスクの運営及びサポート対応 等



### ■ かのや風土記編纂事業（生涯学習課） 710 万円

鹿屋の歴史、地理、自然、文化、人物などを中心に、鹿屋を学べる・語れる書籍「かのや風土記」を編纂し、市民の郷土愛を育みます。

#### ▶ かのや風土記の編纂 710 万円

区分	内容
刊行時期	令和5年3月
主な掲載内容	・ 公民（財政、産業等） ・ 地理（地質、気候、動物、植物等） ・ まちづくり（催し物、お祭り等） ・ 文化・文化財（伝統芸能、古墳、有形無形文化財等） 等

## 基本目標 4 未来につながる住みよいまち

28億8,418万円

### 基本施策① 快適な生活基盤づくりの推進

#### ■ 道路整備事業（道路建設課、農地整備課） 5億8,882万円

主要な幹線道路の整備による周辺地域とのアクセス機能の向上や農道、林道の整備による第一次産業の安定と地域住民の利便性の向上を図ります。

また、老朽化した舗装・側溝の修繕や除草伐採等を実施し、交通事故の防止や市民の生活環境の整備・改善を図ります。

事業内容	整備箇所
主要幹線道路整備事業	2号水道線など9路線
県営道路整備事業（負担金）	鹿屋環状線など7路線
農道・林道等整備事業	吾平東34号線など7地区
県単林道整備事業	林道ツイデ平線

#### ■ 市営住宅改善・改修事業（建築住宅課） 2,776万円

入居者が安心して暮らせる市営住宅とするため、計画的に改善・改修を行い、安全で良好な居住環境の向上を図ります。

事業	内容
平和市営住宅改善事業	設計（外壁改修、屋上防水、バリアフリー化等）
ウズ下祓川住宅緊急通報システム改修工事	シルバー住宅12戸の緊急通報システム改修

### 基本施策② 安全で安心な生活の実現

#### ■ 交通安全対策事業（道路建設課、安全安心課） 4,084万円

中央線や車道外側線の設置、ガードレール・ロードミラー等の交通安全施設整備、通学路における安全対策を行い、交通事故の防止を図ります。

##### ▶ 交通安全施設や通学路等の交通安全対策 4,084万円

- ・ 市内路線の中央線・外側線の区画線設置やガードレールの整備
- ・ 通学路、交差点の安全対策（横断歩道のカラー化、路面標示等）



## ■ 防災・減災対策事業（道路建設課、農地整備課外） 5億7,265万円

災害の未然防止を目的とした雨水・排水対策や急傾斜地の崩壊防止対策等を進め、安全安心な生活基盤を構築します。



### ▶ 雨水・排水対策 3億1,690万円

- ・新川地区や下祓川・旭原地区、西原地区、郷之原地区における道路冠水や宅地浸水を防止するための排水路整備

### ▶ 橋梁点検・補修 2億97万円

- ・橋梁の長寿命化修繕計画等に基づく予防的な橋梁点検や橋梁補修工事

### ▶ 急傾斜地等崩壊防止対策 4,190万円

- ・八ヶ尾南地区など9地区における急傾斜地等の崩壊防止工事

### ▶ 防災対策の推進 1,288万円

- ・自主防災組織が行う防災の取組に対する活動支援や鹿屋市地域防災計画に位置付けられた災害用備蓄品の購入



組み立て式マンホールトイレ

## 基本施策③ 自然環境にやさしいまちづくりの推進

### ■ 環境対策推進事業（生活環境課、畜産課） 3億7,830万円

ごみ減量化・地球温暖化対策などの啓発活動、イベントの実施や、「かのや3キリ運動」・「3010運動」の取組を促進し、自然環境にやさしいまちづくりを推進します。

また、鹿屋市畜産環境センター利用農家の自己処理施設の整備促進等による畜産環境対策を推進します。

### ▶ ごみ減量化・地球温暖化対策の推進 152万円

- ・環境対策を推進するための啓発活動

### ▶ 畜産環境対策等の推進 3億7,678万円

- ・鹿屋市畜産環境センター利用農家の自己処理施設の整備支援
- ・臭気対策資材の配布や、畜産パトロールなどを実施

## 基本目標 5 ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

10億5,764万円

### 基本施策① 地域福祉の充実

#### ■ 生活困窮者自立支援事業（福祉政策課） 1,212万円

生活上の様々な困難に直面している方々が自立した生活を送れるよう、生活や就労など幅広い相談に対応する支援員の配置や、住居確保のための家賃補助など、一人ひとりの状況に応じた各種支援を実施します。

##### ▶ 就労や家計改善等に関する相談員の配置 782万円

- ・ 就労相談等の内容に応じた支援プランの作成等

##### ▶ 住居確保給付金の支給（家賃費用の支援） 388万円

- ・ 支給額：24,200円～31,500円（世帯人数による）
- ・ 支給期間：原則3か月（最長9か月）

#### ■ 農福連携推進事業（農林水産課） 141万円

障がいのある方が農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す、農福連携の更なる推進を図ります。

##### ▶ 農福連携推進事業 141万円

- ・ 障がい者に就労の機会を提供するとともに、農家の労働力を確保するため、就労支援施設と農業者のマッチング等を実施

### 基本施策② 健康づくり・生きがいつくりの推進

#### ■ PCR検査実施事業（健康増進課） 706万円

感染が懸念される市民の方がPCR検査を受けやすくなるよう、検査費用の一部を支援し、感染の不安等を解消するとともに、早期発見による感染拡大の防止を図ります。

##### ▶ PCR検査費用の支援 706万円

対象者	支援内容
検査を希望する 無症状の市民	検査費用の3分の2 (上限1万5千円)



## ■ 大隅広域夜間急病センター事業（健康増進課） 1億1,700万円

夜間における急病患者の応急的な診察を行うなど、地域住民が健康で安心して暮らせるよう、大隅地域の医療体制の維持・確保を図ります。

### 新 ▶ 外科夜間診療の開始 1,547万円

・大隅地域の夜間診療体制を維持・確保していくため、外科についても応急診察を実施



区分	内容
診療内容	小児科・内科・ <b>外科</b> の応急的な処置
診療日・時間	毎日（年中無休） 午後7時から翌日の午前7時まで

## ■ 妊産婦乳幼児健康診査事業（健康増進課） 1億3,870万円

妊婦・産婦や乳幼児の健康診査や訪問による相談・指導等を実施し、安心して出産・育児ができるよう支援し、母子の健康の保持増進を図ります。

### 新 ▶ 視覚検査における屈折検査の導入 105万円

・子どもの視力発達の遅れや、眼疾患の早期発見・治療に繋げるため、3歳児健診における視覚検査について、医療機器の導入による屈折検査を実施

## 基本施策③ 共生協働・コミュニティ活動の推進

### ■ 住民主体の助け合い活動支援事業【介護保険特会】（高齢福祉課） 310万円

地域の住民が主体となり、地域課題やニーズ等の実情に応じたサービスを提供することで、高齢者の自立した生活環境の維持・向上を図るとともに、高齢者自らもサービスの提供者になることで社会参加を促進し、地域住民による自助・互助の充実を図ります。

### 新 ▶ 助け合い活動を行う団体への支援 310万円

・生活支援提供や高齢者等の居場所づくりなど、住民主体の助け合い活動を行う団体に対する活動費等の支援

## 市政運営

**37億5,778万円**

### ■ スマート自治体推進事業（デジタル推進課） **4,319万円**

令和3年3月策定の「鹿屋市役所スマート化計画」に基づき、ICT利活用による市民の利便性向上や業務効率化を実現するための機器等の導入、ICT関連の資格取得支援・研修実施によるスマート職員の育成を推進します。



#### **拡 ▶ 自治体クラウドの推進** **2,391万円**

- ・ 県内4市で共同利用するシステム構築及びデータ移行の実施  
 ※令和5年度本稼働予定（4市：鹿屋市、日置市、伊佐市、枕崎市）
- ・ コンビニ交付システム機器のクラウド化

#### **▶ デジタル専門人材の活用やICT機器の充実によるスマート化計画の推進** **1,536万円**

- ・ デジタル専門人材…総務省の企業人材派遣制度を活用し、令和3年度より登用中

#### **拡 ▶ スマート職員の育成** **371万円**

- ・ ICTを活用し業務を効率化するスマート職員育成研修の実施
- ・ ICT関連資格取得支援（ITパスポート、基本情報技術者）

### ■ ふるさとPR促進事業（ふるさとPR課） **13億4,538万円**

ふるさと納税制度を活用して、寄附していただいた方に、本市の魅力ある特産品を返礼品としてお届けし、全国に向けた本市の認知度向上とふるさと納税の更なる推進を図ります。

## 歳入歳出予算対前年度比較表

### (1) 歳入

(単位 千円)

款	令和4年度 当初予算 (a)	令和3年度 当初予算 (b)	増減額 (a)-(b) (c)	増減率 (c)/(b) %
1 市税	10,619,100	9,785,600	833,500	8.5
2 地方譲与税	558,749	537,545	21,204	3.9
3 利子割交付金	4,000	5,000	▲ 1,000	▲ 20.0
4 配当割交付金	16,000	16,000	0	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	14,000	10,000	4,000	40.0
6 法人事業税交付金	151,000	95,000	56,000	58.9
7 地方消費税交付金	2,181,000	2,120,000	61,000	2.9
8 ゴルフ場利用税交付金	8,000	8,000	0	0.0
9 環境性能割交付金	47,000	30,000	17,000	56.7
10 国有提供施設等所在市町村 助成交付金	500,000	500,000	0	0.0
11 地方特例交付金	58,000	75,000	▲ 17,000	▲ 22.7
12 地方交付税	12,700,100	12,400,000	300,100	2.4
13 交通安全対策特別交付金	15,000	15,000	0	0.0
14 分担金及び負担金	185,009	211,021	▲ 26,012	▲ 12.3
15 使用料及び手数料	740,850	764,344	▲ 23,494	▲ 3.1
16 国庫支出金	9,007,331	9,150,749	▲ 143,418	▲ 1.6
17 県支出金	5,731,432	5,280,724	450,708	8.5
18 財産収入	83,194	76,325	6,869	9.0
19 寄附金	2,200,001	2,210,001	▲ 10,000	▲ 0.5
20 繰入金	3,742,762	3,972,662	▲ 229,900	▲ 5.8
21 繰越金	600,000	600,000	0	0.0
22 諸収入	273,172	327,329	▲ 54,157	▲ 16.5
23 市債	1,494,300	3,979,700	▲ 2,485,400	▲ 62.5
歳入合計	50,930,000	52,170,000	▲ 1,240,000	▲ 2.4
内 自主財源	18,444,088	17,947,282	496,806	2.8
内 依存財源	32,485,912	34,222,718	▲ 1,736,806	▲ 5.1

### (2) 歳出

(単位 千円)

款	令和4年度 当初予算 (a)	令和3年度 当初予算 (b)	増減額 (a)-(b) (c)	増減率 (c)/(b) %
1 議会費	283,034	303,855	▲ 20,821	▲ 6.9
2 総務費	5,756,096	5,664,766	91,330	1.6
3 民生費	22,229,388	21,550,825	678,563	3.1
4 衛生費	2,846,500	2,918,728	▲ 72,228	▲ 2.5
5 労働費	59,899	65,274	▲ 5,375	▲ 8.2
6 農林水産業費	3,074,968	2,789,420	285,548	10.2
7 商工費	759,207	923,098	▲ 163,891	▲ 17.8
8 土木費	2,352,029	2,512,643	▲ 160,614	▲ 6.4
9 消防費	1,412,835	1,449,732	▲ 36,897	▲ 2.5
10 教育費	4,211,861	5,823,192	▲ 1,611,331	▲ 27.7
11 災害復旧費	383,707	228,193	155,514	68.2
12 公債費	4,631,165	4,506,449	124,716	2.8
13 諸支出金	2,829,311	3,333,825	▲ 504,514	▲ 15.1
14 予備費	100,000	100,000	0	0.0
歳出合計	50,930,000	52,170,000	▲ 1,240,000	▲ 2.4